



# VST プラグイン のバックアップ

新しいPCにこれまでの作業環境を移行する場合、DAWのテンプレートや設定を持って行く必要があります。

これらはDAWアプリケーションのメーカーが解説していることが多いですが、ユーザーがインストールしたプラグインなどは対象になっていることはありません。

VST3プラグインのバックアップは、主に「プラグイン本体のファイル(.vst3)」と「ライセンス/設定ファイル」の2つを対象に行います。

VST3プラグインは規格上、OSごとに特定の場所にインストールされるため、そのフォルダーを丸ごと外付けHDDやクラウドストレージにコピーするのが最も確実です。

## 1. VST3プラグインの保存場所(バックアップ対象)

以下のフォルダーをコピーしてください。

[C:\Program Files\Common Files\VST3](#)

## 2. バックアップの具体的な手順

### 1. フォルダーのコピー:

上記「[C:\Program Files\Common Files\VST3](#)」のフォルダーを、USBメモリ、外付けハードディスク、またはクラウド(Dropbox, Google Driveなど)にコピーして保存してください。

### 2. ライセンス/アクティベーションの管理:

多くのプラグインは、オンライン認証や dongle (iLok, eLicenser) を使用しています。プラグインファイルを戻しても、ライセンスが認識されない場合は、各メーカーの管理アプリ (Native Access, iLok License Manager など) で再認証が必要です。

### 3. プリセットのバックアップ:

作成したプリセットは、上記とは別の場所に保存されている場合があります。これらも上記 VST3 フォルダーと共に保存してください。

C:\Users\[ユーザー名]\Documents または AppData 配下のメーカー名フォルダー

## 3. 注意点・ヒント

### インストーラーも保存する

プラグインの最新版のインストーラー本体(.exe)も一緒にバックアップしておく、PC移行時に再ダウンロードの手間が省けます。

### VST2は別の場所

VST3とは異なり、VST2は別フォルダ(例: [C:\Program Files\Steinberg\VstPlugins](#))に保存されることが多いため、別途バックアップが必要です。

## 4. 復元方法

新しい環境で、バックアップしたフォルダーを元の場所([C:\Program Files\Common Files\VST3](#))に戻し、DAWのプラグインマネージャーで再スキャンを行ってください。